

## 展覧会情報

この秋以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

### ■地図記号わくわく大図鑑

会場：地図と測量の科学館

電話029-864-1872

会期：2006年8月1日～9月22日



### ■国絵図と城絵図

会場：名古屋市蓬左文庫

電話052-935-2173

会期：2006年7月26日～9月24日

### ■世界地図の中の日本(スポット展示)

会場：広島県立歴史博物館

電話084-931-2513

会期：2006年8月25日～9月28日

### ■岸和田の古絵図展

会場：岸和田市郷土資料館

電話072-431-3251

会期：2006年7月27日～10月1日

### ■古地図の世界展 江戸時代の地図を楽しむ

会場：丸亀市立資料館

電話0877-22-5366

会期：2006年8月26日～10月22日

### ■古地図でたどる美濃と飛騨

会場：岐阜県図書館

世界分布図センター

電話058-275-5111

会期：2006年7月29日～  
10月29日



### ■甦る鷹見泉石の絵地図

#### 国指定重要文化財修理の足跡

会場：古河歴史博物館

電話0280-22-5211

会期：2006年8月26日～12月24日

### ■南砺の活断層 地形図・絵図・古文書から現代まで

会場：井波歴史民俗資料館(曳山会館)

電話0763-82-5050

会期：2006年9月22日～10月31日

### ■絵地図に見る美濃・飛騨の姿

#### ～笠松陣屋絵図と宝暦治水～

会場：岐阜県歴史資料館1階

電話058-263-6678

会期：2006年10月1日～12月28日

### ■デジタルマップフェア2006

会場：東京都立産業貿易センター

電話03-3434-4242

会期：2006年10月26日～10月27日

## 設立「25周年記念の会」開催予定

平成18年5月、財団法人地図情報センターは財団設立以来25年を迎えました。

また、機関誌「地図情報」も今年度第4号で通巻100号となります。

これを記念し、今秋、「設立25周年記念の会(仮称)」の開催を予定しております。

詳細が決まりましたら会員の皆様にお知らせ致しますので、ぜひご参加下さい。



写真は「20周年記念の会」(於学生会館)

# 地図絡み

## 第26回 はじめての北海道で

井口悦男(帝京大学理事)

北海道が九州とともに、東京在住の若者あこがれの旅行先であった時代の話である。この両地は、大学生のいわゆる卒業旅行先、現在の外国に相等した。

青函連絡船で内地から約4時間の海をへだてた、函館からはじまる北の大地の、はじめて目に入る姿は、新鮮さに満ちていた。

海沿いに北上する列車から、満艦飾のスルメイカ干し場と、背後の木造平屋一軒一軒から立ちあがる土管をつないだ煙突群とが、何とも珍しかった。線路脇の叢に、大きな葉の蔭がゆれているのも目新しかった。

北海道に出掛けはじめた、昭和20年代末期から同30年代初頭には、函館と道東とを結ぶ各急行列車は、網走行では旭川から、また根室行では釧路から、それぞれ普通となり各駅に停車して終点に達した。うち興味深いことには、列車番号1、2の「大雪」号「網走行」あるいは「函館行」では、普通区間にまたがり食堂車が連結されていた。根室行「まりも」号では急行区間の終わる釧路で切り離された。

したがって、旭川から網走までの単線区間では、一駅毎に停車をくり返し、また対向列車との交換待ちでは小駅での5分待ちも生じた。幹線をひた走る特急、急行での食堂車にはないゆつたりさが見られた。

近頃の中国で、山西の大同から太原まで、早朝から夕方まで、食堂車付き普通を利用した。単線の同蒲線は駅毎にカーブのくり返しで、石北線の「大雪」号を思い出させたが、駅への出入りでゆれる食堂車は、コック1人もあってか、小さなメニューに書かれた5、6種類の定食に限られた。しかし余裕空間を含

- ↔=列車の併結又は分割
- ⊕=公衆電報取扱駅
- ⊖=弁当販売駅
- ⊙=洗面所設置駅
- ⊖=赤帽所在駅
- + =日本赤十字社派遣駅

《駅の設備をしめす記号(洗面所)》  
現在、みどりの窓口と、弁当販売のマークだけになってしまったが、戦後の昭和20~30年代まで弁当のほか、公衆電報、洗面所、赤帽、日本赤十字社派遣などが見られた。  
なかで洗面所は、WCの所在ではなく、銭湯の流し場、民宿の流し台にあたる、ホーム上に両面、洗面器付き蛇口が並ぶものであった。温泉の出るところも見られたが、幹線上に限られた。  
(54-9月号日本交通公社時刻表)

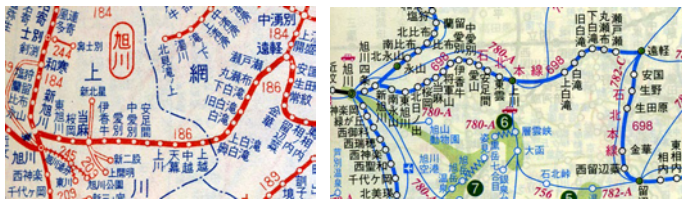
札幌	旭川	網走	根室
286.7	288.5	292.1	296.5
304.2	307.3	316.7	322.6
326.9	335.5	339.8	345.7
348.1	354.3	359.0	362.2
...	378.2	385.7	392.9
400.3	406.1	415.0	421.1
425.1	...	...	...

む普通列車のことは確かであった。

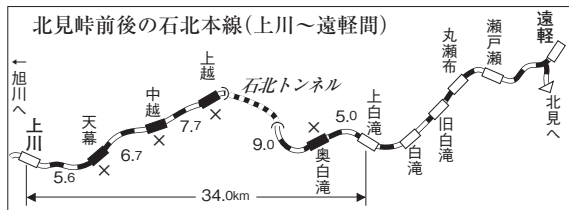
ところで、旭川は道内大駅として、停車時間の長い駅でもあった。そのことで幸いしたことがあった。SLのひく列車が当然の当時、吐きだす煙に含まれる石炭のススで、鼻の口をはじめ顔が、とくに窓を開けはなしていた夏場には、黒くなるばかりか、細かなカスがよく目に飛び込んで痛かった。目のゴロゴロがなかなか取れず困ったものだった。

石狩平野で目に入った石炭カスが旭川まで一向に取れなかったのを、旭川の停車中、ホームの洗面所の蛇口に目を押しあて、勢いよい水で強く洗浄できてヤレヤレとなった。

月遅れのお盆過ぎ、小樽から網走行夜行普通に乗ったとき、夕暮れの銭函海水浴場では点点と焚火が砂浜にゆらめいていた。北海道らしい光景と納得した。その頃のシベリア鉄道の夜には、寝台備え付けの毛布1枚にくるまるだけでは寒くて仕方ない日が見えはじめる(06.08.15)



《山越えて続く4つの駅が消えた石北本線》  
北海道の背骨、北見山地を越える石北本線では、石北トンネル前後に並ぶ4駅が駅扱いを一斉に止めてしまった。駅があった頃も、今も山越え区間の上川~白滝間停車列車は上下各1回という特定ダイヤが続く。朝、山里から町に下る1便と、夕方、山里に上る1便という、むかし見られた地方のバス運行方式を思い出させる。



上左：54-9月号 日本交通公社時刻表  
上右：06-4月号 JTB時刻表  
下：国土地理院 20万分1図よりスケッチ (NOT IN SCALE)

**ICICニュース** Vol.11 No.2通巻38号  
発行年月日：2006年(平成18年)9月1日  
編集・発行：財団法人 地図情報センター  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5  
神保町センタービル5階  
Tel.03-3262-1486 Fax.03-3234-0872  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/icic/>  
E-mail [icic\\_map@yahoo.co.jp](mailto:icic_map@yahoo.co.jp)